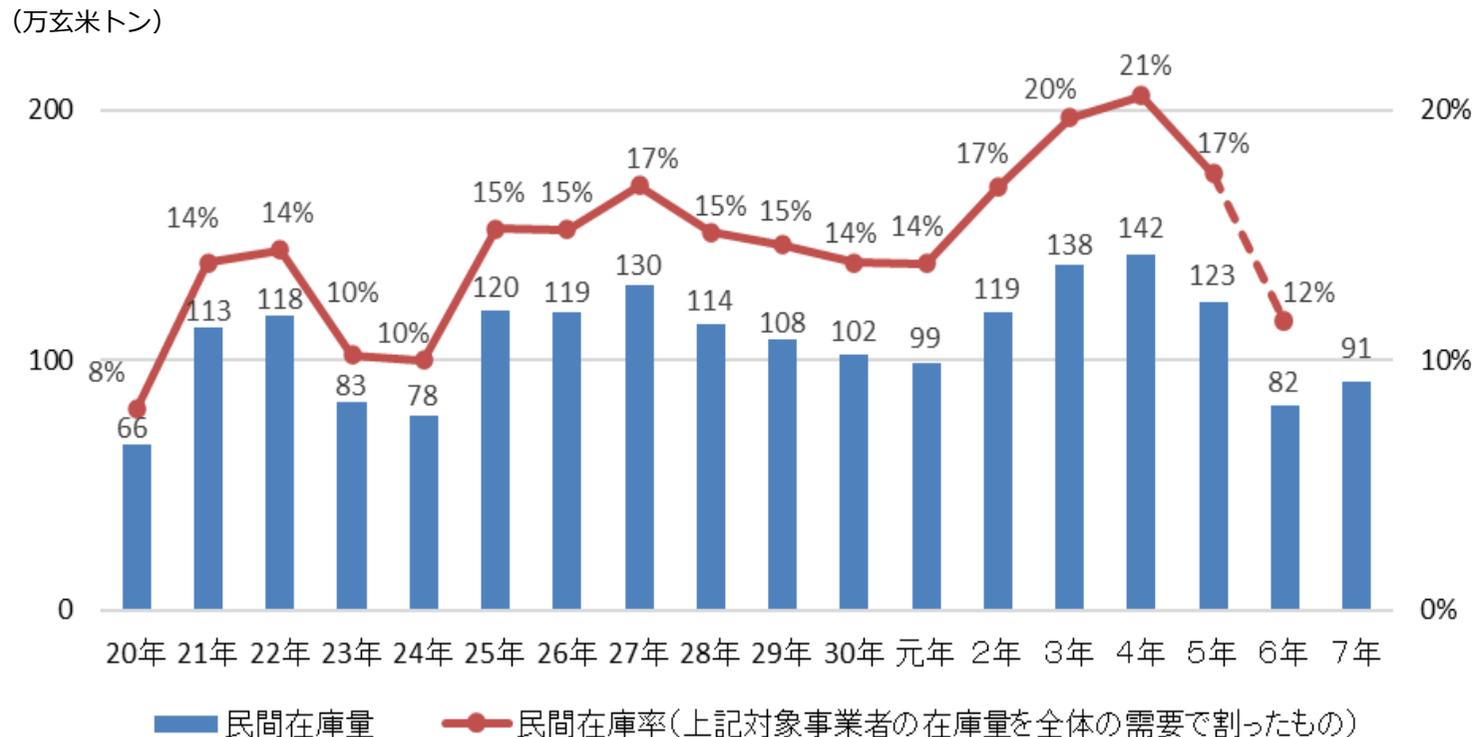


# 令和7年7月末民間在庫量のポイント

- 毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の集荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の77%をカバー(別紙参照)。
- 令和7年7月末の民間在庫量は、91万玄米トンで前年同月に比べ9万玄米トン増加。(うち売り渡した政府備蓄米の数量は5.3万トン)
- 売り渡した政府備蓄米を除いた在庫量は、86万玄米トンで前年同月に比べ4万トン増加。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

## 7月末民間在庫量・在庫率



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。  
 ※令和6年の在庫率は、令和7年7月時点でわかっている値をもとに計算した711万玄米トンを需要量として算出したもの。  
 ※令和7年は、売り渡した政府備蓄米(入札及び随意契約による売渡し分)の数量(5.3万玄米トン：うち出荷段階2.5万玄米トン、販売段階2.7万玄米トン)を含む。

## ○ 出荷・販売段階別の民間在庫量 (単位: 万玄米トン)

	6年7月末	7年7月末
出荷段階	58	59
対前年差	▲ 38	+1
販売段階	25	32
対前年差	▲ 3	+8
合計	82	91
対前年差	▲ 40	+9
うち備蓄米	-	5
うち備蓄米以外	82	86
対前年産	▲ 40	+4

※出荷段階は玄米仕入数量が500トン以上の集荷業者等  
 販売段階は玄米仕入数量が4,000トン以上の卸売業者等

## ○ 集荷業者の集荷数量 (単位: 万玄米トン)

	集荷数量	前年比
7年7月末	243.2	95%
6年7月末	257.3	95%
対前年差	▲ 14.1	-

※集荷数量は販売数量が5,000トン以上の集荷業者等  
 ※7年7月末には、売り渡した政府備蓄米の販売数量等の報告結果(7月分までの確報)の数量14.0万玄米トンを含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

(単位：万玄米トン)

	出荷段階		販売段階		生産段階
	年間取扱 500玄米トン以上		年間取扱 4,000玄米トン 以上	年間取扱 500~ 4,000玄米ト ン	
うるち米	<p>【毎月調査ベース】</p> <p>6月末在庫 121万トン → 7月末在庫 91万トン (対前年+9万トン)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【出荷段階】</p> <p>6月末 84万トン</p> <p>↓</p> <p>7月末 59万トン (対前年+1万トン)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【販売段階】</p> <p>6月末 37万トン</p> <p>↓</p> <p>7月末 32万トン (対前年+8万トン)</p> </div> </div>				
もち米					

157万トン  
(※6月末のみ調査)